

2009年11月18日

「C大きな焼おにぎり」「C焼おにぎり」商品回収についての報告

日頃より生協をご利用いただき誠にありがとうございます。

このたびは、C大きな焼おにぎり、C焼おにぎりへのプラスチック片の混入による商品回収をすることとなり、組合員の皆様にはご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。回収の経過と今後の対応につきまして、ご案内いたします。

1. 経過

「C大きな焼おにぎり6個・C焼おにぎり10個」の製造委託先、日本水産株式会社より、八王子工場第1製造ラインで製造された分で異物混入事故の可能性があると日本生活協同組合連合会（以下日生協）に報告がありました。日本水産株式会社は、11月2日に回収の社告を掲載し、日生協も各生協を通じて組合員の皆様に回収の連絡をさせていただきました。

異物混入は、プラスチック片であり該当商品、該当賞味期限日も今回特定できましたので、該当組合員の方に連絡回収の案内をいたしました。

該当商品は、賞味期限が2010年7月29日、8月3日、8月22日、8月31日のC大きな焼おにぎりと賞味期限が2010年9月7日のC焼おにぎりです。

共同購入は、8月 週の木曜金曜配達コース、9月 週、10月 週で配達されたC大きな焼おにぎりが回収対象となりました。C焼おにぎりは、該当品はありませんでした。

店舗は、C大きな焼おにぎりが、ララコープ、生協水光社の一部店舗、C大きな焼おにぎりが、エフコープ、コープさが生協、ララコープ、コープおおいた、生協コープかごしまの各店舗で販売されており、回収の案内をいたしました。（全店ではありません。）

2. 今回の要因につきまして

今回混入した異物は、炊飯済みの米飯をおにぎり成型機に自動搬送するプラスチック製バケットの一部が破損し、欠落したものであることが判明しました。

今回破損したバケットは、2009年7月15日の製造前に交換したものでした。交換前の古いバケットは調査の結果、破損が無いことから2009年7月14日以前の製造品については、問題ないものと判断いたしました。

現時点で推測される破損原因は、新しく交換したバケットより原料樹脂（ポリプロピレン）メーカーが変更になっていることから、強度等の問題が発生している可能性があるかと判断しています。

毎日の製造開始時の点検においても、今回の破損箇所はバケット取り付け部分の裏側で見えにくい部分であり、破損を発見できなかったものです。また、金属探知機とX線異物除去装置で製造品は点検していますが、今回はポリプロピレン製で磁性がないこと、破損部分が薄いことで、いずれもプラスチック片は感知・除去されませんでした。

3. 商品再開につきまして

今回、プラスチック片混入が問題となったのは、日本水産八王子工場第1製造ラインです。

10月31日(土)に日生協職員立会いの下、問題のない日本水産八王子工場第2製造ラインにてC大きな焼おにぎり製造を再開いたしました。

C焼おにぎりは、従来、日本水産八王子工場第2製造ラインで製造しています。回収対象となった賞味期限2010年9月7日の分のみ第1製造ラインで製造いたしました。元々の第2製造ラインにて製造することを確認いたしました。

共同購入は、C焼おにぎりを11月3週、C大きな焼おにぎりを12月5週に企画予定しています。いずれも問題のない第2工場ライン製造品をお届けいたします。店舗は、該当賞味期限の商品撤去後、問題ない賞味期限の商品を継続して陳列販売しています。現在商品の入荷も問題ない賞味期限の商品が入荷していることを確認しています。

尚、原因については現在も調査中であり、事実が判明した時点で最終報告をいたします。

引き続き、工場の製造工程の点検強化、品質管理強化を進めてまいります。

今回の件につきましては、大変申し訳ございませんでした。深くお詫び申し上げます。

これからもよりよい品質の商品を組合員の皆様にお届けできますよう最善を尽くして参りますので、引き続き生協商品のご利用お願い致します。

